

# 理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～ 平成 20 年 8 月 25 日

## ビオトープに遊びにきてね！

神宮寺小学校にはビオトープがあるのをご存知ですか。ビオトープとは、生命「バイオ bio」と場所「トポス topos」を合わせた言葉で、生物の生息空間を指します。例えば、大浦沼にはチョウトンボが生息しています。だから、大浦沼はチョウトンボのビオトープと言えます。その気候や水の様子、そこにすむ他の生き物や植物の全てを含めたものです。そのミニミニ版が神宮寺小学校のビオトープなのです。

8 月 21 日に見つけたものを紹介します。



ミヤマアカネ  
羽根の模様が特徴です。



ヤゴのぬけがらが二つありました。  
何トンボのヤゴでしょうね。



なかなか大きいヤゴです。このヤゴを支えるだけの生き物が、神宮寺小学校のビオトープにいるんですね。ミジンコもたくさんいますし、アメンボやマツモムシもいます。タニシもいますしカエルやオタマジャクシもいます。鳥も訪れます。そしてたくさんの藻や水草。これらが互いに関係しあって、一つの生態系を作っているんですね。

学校にいらした際は、「どれどれ」とのぞいて見てくださいね。休憩用のベンチもありますよ。



いい所だね～

ぼくも遊びにきたよ  
クワックワッ